

町の台所 危険水域へ突入

答弁：改革へ不退転で望む

牛房 基金が豊かな優良自治体の志免町が、26億円の基金を使い果たし赤字転落の危険水域にまで落ちこむ。財政再構築五ヶ年計画はどうなったの



牛房良嗣 議員

か、進捗が見えない。
町長 成果はあげているものの、成果を上回る地方交付税の減額、国保の赤字補填の毎年の増額などのため、基金取崩しの非常事態となる。平成22年度までに、基金を使わないで、90億円の予算を組める体制を構築する。
牛房 計画の達成には町民の理解と協力が不可欠。(1)4万3千人のライフラインの堅守
(2)子ども、障害者、高齢

者の行政サービスの維持向上
(3)優先順位、取捨選択による事業の見直しなどの改革の姿を町民に明示、説明責任を果たし、町長自らが改革の先頭に立ち行動を。
町長 町の財政危機を乗り越えるため不退転の決意で臨む。



▲財政再構築が急がれる志免町



▲多目的に利用できる志免中ランチルーム



丸山真智子 議員

行財政改革

改革・改善の結果は

答弁：プランに基づき努力

丸山 人件費の削減は職員が減っても臨時や嘱託職員が増えている。ラスパイレス指数も全国市の平均より高い。
総務課長 嘱託職員が増えているのは新たなサービスが出てきているから

丸山 補助金の削減については21年度予算でどこまで断行されるのか。
また、町有財産は無駄なく活用されているのか。
町長 関係する団体など

で、正規職員の削減に伴う補充とは捉えていない。ラスパイレス指数は人件費の総額を削減しているの、職員個々の給与の削減は考えていない。
丸山 見直しを提案する。

に理解していただき、積極的に反映させたい。
町有財産はできるだけ可能なものは利活用して、経営感覚をもち、行政運営していく。
丸山 中学校のランチルームの活用など、アイデアを募り実行して欲しい。

※ラスパイレス指数
国家公務員の給与水準を100とした場合の当該地方公共団体の給与水準を示す指数。

発達支援 総合的な支援体制を

答弁：十分に整備している

吉田 学齢期後も継続した支援を受ける体制づくりのため、発達支援室を設置してはどうか。
福祉課長 学校に入ると教育相談室があり、臨床



吉田耕二 議員

心理士、教育相談員を配置している。
ここを中心に保育園、健康課、子育て支援課など関係課の窓口として、専門的な支援体制づくりをしている。
吉田 乳幼児期から小学校、中学校、さらには高校、就学に至るまでの支援はできているのか。
教育長 発達に課題のある児童・生徒の支援を行うため、小学校の通常学級に6人の教員を、特

別支援学級に小・中学校11人の教員を町費で配置している。
また、町独自の特別支援教育チームを編成し、各学校の必要とする支援ができる体制づくりをしている。
吉田 学齢期後も継続した支援が十分にされていると考えている。



▲まず体を動かし学習を始める通級教室（南小学校内）

一般質問8人

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。詳細は会議録を「参照ください」。
掲載は質問順としています。